

3 グローバルゲートウェイ品川



高輪ゲートウェイ駅

▶ 私たちが目指すこと

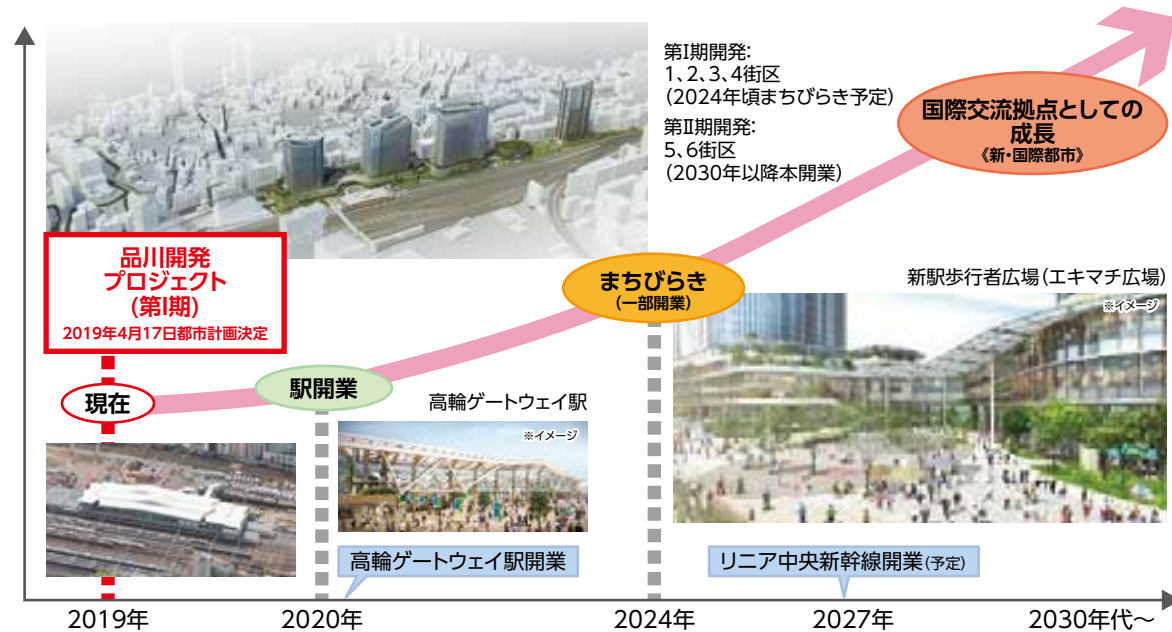


JR東日本グループは、JR東日本グループ経営ビジョン「変革2027」ならびに「生活サービス事業成長ビジョン(NEXT10)」において、従来の「駅を中心とするビジネス」から住んで良かった、働いて良かった、訪れて良かったと感じられる「くらしづくり(まちづくり)」への挑戦を打ち出しています。

品川～田町駅間の品川車両基地跡地においては、新たに開業する高輪ゲートウェイ駅を核に「グローバルゲートウェイ品川」として、世界中から先進的な企業と人材が集い、多様な交流から新たなビジネス・文化が生まれる「まちづくり」を進めています。

世界につながり、地域をつなぐ「新・国際交流拠点」としてのまちづくり

2020年春の高輪ゲートウェイ駅開業と、その後のまちびらきを契機として、国際交流拠点として成長し続けるまちをめざします。



先進的な環境・エネルギーを取り入れたまちづくり

これまで有効に活用されてこなかったエネルギーや低炭素に資する自営電力、高効率コージェネレーションシステムを活用した電力供給、地域冷暖房施設による熱供給を行い環境負荷の低減をめざします。また、災害時にも電力・熱の確保が可能な自立・分散型エネルギーネットワークを構築する予定です。



高輪ゲートウェイ駅前でのイベント開催

高輪ゲートウェイ駅の開業にあわせて、駅前の約30,000㎡の敷地を活用し、約半年間にわたりイベントを実施するほか、敷地の一部は、東京2020オリンピック・パラリンピック開催期間中、「東京2020ライブサイト」会場となります。

また、国内外から訪れるお客さまに楽しんでいただけるように、未来をイメージした駅や街を体験できる展示空間、食・音楽・アートなどをテーマにした体験、日本の食・モノ・コトを発信する店舗の展開、スポーツイベントを実施します。



駅前イベント空間イメージ

VOICE

イベントを通じて将来のまちへの期待を高める



東日本旅客鉄道(株)
品川・大規模開発部
大泉 峻

高輪ゲートウェイ駅開業にあわせて、駅前の広大な土地を利用したイベントを実施します。実施に向けて、提携先や関係個所と実施内容やコンテンツの調整・検討等を行っています。

高輪ゲートウェイ駅開業後、約半年間の限定されたイベントではありますが、多くのお客さまに足を運んでいただき、将来のまちへの期待感を高め、皆さまの記憶に残るイベントとなるよう取り組んでいます。

環境先導都市モデルを目指したまちづくり



東日本旅客鉄道(株)
品川・大規模開発部
鎌田 龍延

「バイオガス利用設備」や「燃料電池」といった未利用エネルギー設備の導入計画や、これらの機器の設置・運用に関わる法令整理および行政協議、効率的な運用スキームの策定等を行っています。

エネルギーの安定供給はもちろんのこと、より先進的で環境性能の高いシステム構築を実現させることで、品川のまちが環境先導都市モデルとなるよう、今後も未利用エネルギーの活用計画を進めています。

関連記事についてはP72をご参照ください▶